

# 第8次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	生活習慣病予防対策事業
-----	-------------

会計区分	一般会計	実施主体	市
根拠法令等	老人保健法・予防接種法		
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	●実施(補助)期間 自 継続 ～ 至

担当部	福祉保健部子育て参事監	担当課	中央保健センター
担当係	総合検診室 食育推進係	内線	6170 6144 課 No. 40020
関係課			

総合計画				基本計画の政策目標 (平成16年度→22年度)		
基本計画	章名	第2章 自然と社会が調和した環境づくりと安心でいきいきとした暮らしづくり		○「健康だと感じている人」の割合 ○子育てを楽しんでいると感じる人の割合 ○「朝食を毎日取る人」の割合(生活習慣の改善) ○「運動習慣がある人」の割合(生活習慣の改善)	平成17年度	平成22年度
	節名	第2節 安心でいきいきとした暮らしづくり			72.7% → 80%以上	
	細節名	第2 生涯を通じた健康づくりの推進			父親68.9% → 73%以上	母親66.8% → 70%以上
	施策名	③基本的な生活習慣の確立の支援	該当ページ		105ページ	76.3% → 80%以上
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン				6 生涯健康都市の実現		
事業区分		新規	継続	● 施策No.	22-02-03	

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	平成19年度 事業内容	平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	備考	注意事項
「早期発見」「早期治療」という二次予防から、発病を予防する「一次予防」に重点を置いた健康づくり事業を推進することができ、「健康寿命」の延伸と「生活の質」の向上を図ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本健康診査事業</li> <li>・人間ドック事業</li> <li>・食育活動等推進事業</li> <li>・ふしめ歯科健診事業</li> <li>・脳ドック検診事業</li> <li>・老人保健法施行事務</li> <li>・骨粗しょう症予防事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査事業</li> <li>・人間ドック事業</li> <li>・食育活動等推進事業</li> <li>・ふしめ歯科健診事業</li> <li>・脳ドック検診事業</li> <li>・健康管理システム管理事業</li> <li>・骨粗しょう症予防事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査事業</li> <li>・人間ドック事業</li> <li>・食育活動等推進事業費</li> <li>・ふしめ歯科健診事業</li> <li>・脳ドック検診事業</li> <li>・健康管理システム管理事業</li> <li>・骨粗しょう症予防事業</li> <li>・女性特有がん検診</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査事業</li> <li>・人間ドック事業</li> <li>・食生活改善事業費</li> <li>・成人栄養改善事業</li> <li>・母子栄養改善事業</li> <li>・ふしめ歯科健診事業</li> <li>・脳ドック検診事業</li> <li>・健康管理システム管理事業</li> <li>・骨粗しょう症予防事業</li> <li>・女性特有がん検診</li> </ul>		<p style="text-align: center;">(注1)</p> 事業内容は、①緊急性、②地域の実情、③効果、④熟度、⑤有利財源の確保の観点により、毎年ローリング(見直し)する中で変更していくことがあります。
事業の概要	健康診査(基本診査・子宮ガン、胃ガン、肺ガン、乳ガン、大腸ガン検診・骨粗しょう症)					
事業の対象者(交付先)	すべての市民					
事業費(百万円)	H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	H19～H22合計	
※百万円未満の事業費は、百万円に切り上げています。	390	353	334	352	1,429	
財源内訳(インプット)	一般財源	365	327	283	302	1,277
	国庫支出金			24	19	43
	県支出金	5	6	5	6	22
	起債( )					
	その他(受診者負担)	20	20	22	25	87

(注2)

事業費(財源内訳)は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。